

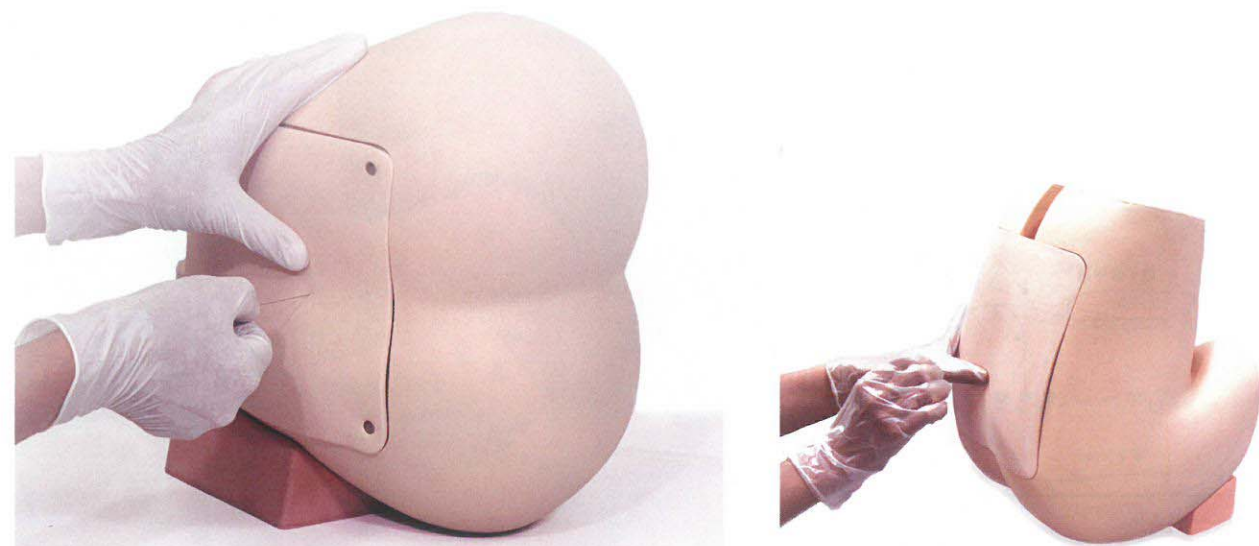
腰椎・硬膜外穿刺シミュレータ “ルンバールくん II”



M43B

監修/指導 ● 国際医療福祉大学 副学長 天野隆弘

I-C
臨床手技 | 腰椎穿刺



臨床現場を想定した総合的な腰椎穿刺手技の手順を実習

■ 特長

- 体位保持から髄圧測定まで腰椎穿刺手技の手順をトータルに学習できます。
- 穿刺部位のパッド交換で、難易度の異なる4タイプの患者さんを想定した腰椎穿刺実習が可能。
- リアルな穿刺感覚で正確な手技が体得できます。
- 透明穿刺部位と精巧な付属の腰椎模型の併用で、解剖学的理解を深めることができます。

■ 実習項目

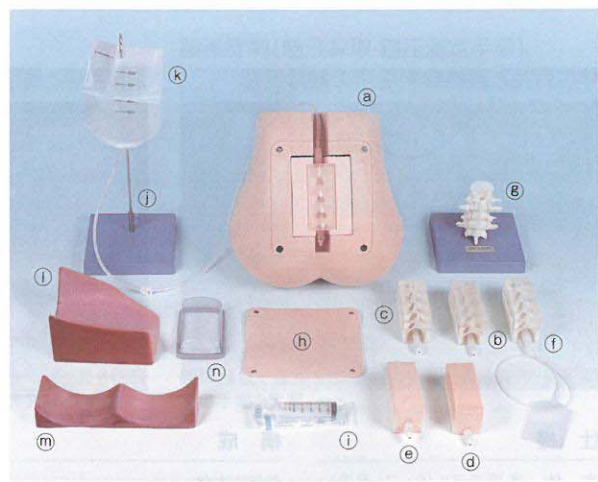
腰椎刺入位置の触診
胸椎穿刺(髄液採取、髄圧測定)
硬膜外麻酔

仕様

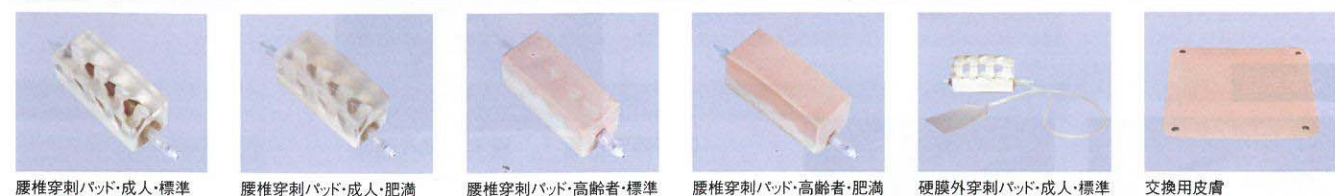
本体：成人腰部モデル
大きさ：約W33×D21×H30cm
材質：軟質特殊樹脂製(本体)

構成

① モデル本体	1体	① シリンジ	1点
② 腰椎穿刺パッド・成人・標準	2点	② スタンド	1点
③ 腰椎穿刺パッド・成人・肥満	1点	③ 貯水袋	1点
④ 腰椎穿刺パッド・高齢者・標準	1点	④ 専用固定台 大・側臥位用	1台
⑤ 腰椎穿刺パッド・高齢者・肥満	1点	⑤ 専用固定台 小・座位用	1台
⑥ 硬膜外穿刺パッド	1点	⑥ 体位保持用練習台	1台
⑦ 腰椎説明模型	1点	取扱説明書	
⑧ 模擬皮膚	1枚		



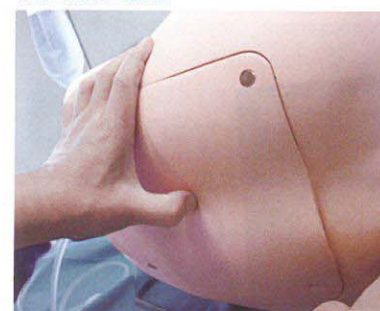
交換部品



腰椎穿刺パッド・成人・標準 腰椎穿刺パッド・成人・肥満 腰椎穿刺パッド・高齢者・標準 腰椎穿刺パッド・高齢者・肥満 硬膜外穿刺パッド・成人・標準 交換用皮膚

■ 実習手順と特長

体位保持と触診



腸骨稜最高点および穿刺部位の刺突起を触診してジャコビー(ヤコビー)線を確認し刺入点を決めます。

腰椎穿刺

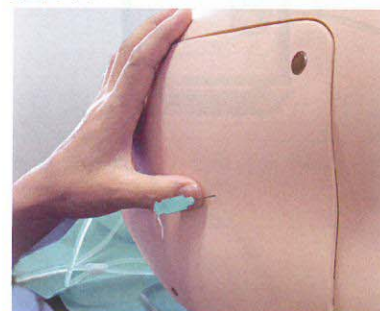


腰椎への穿刺は難易度の異なる2タイプ(4種)の穿刺パッドでトレーニングできます。

高齢者パッド：
高齢者特有の刺入時の抵抗感、加齢に伴う刺突起・椎弓板変形により狭くなった椎弓間を再現したタイプ。

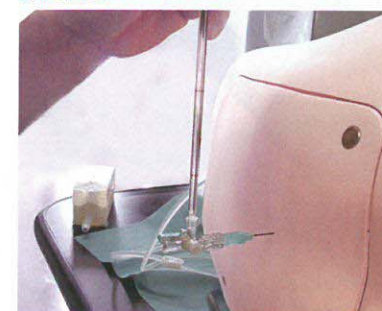
肥満体型パッド：
刺突起が触りにくく、針の刺入が深くなるタイプ。

髄液採取



ルンバール針では、手技が成功の場合は、スパイナル針からスタイレット(マンドリン)を引き抜くと、模擬髄液の流出が確認できます。直針の場合は手技が成功すると髄液の流出が確認できます。

髄圧測定



人体同様の圧力で模擬髄液を採取でき、マンメータによる髄圧測定も可能です。

硬膜外穿刺



硬膜外穿刺パッドを用いて、硬膜外麻酔・腰椎麻酔手技をトレーニングできます。硬膜の微妙な抵抗を再現、麻酔針が黄色靭帯を貫き、硬膜外腔に入る微妙な感覚を感じることができ、抵抗消失法の学習が可能です。

予備学習



実物から型取した精巧な第二～第五の腰椎模型です。屈伸させることで体位による椎弓間の開閉の様子が理解でき、実習の予備学習に最適です。

ルンバールくんIIの実習に使用する器具・備品リスト

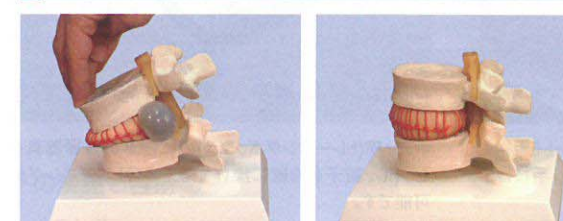
腰椎穿刺実習	硬膜外穿刺実習	各手技に共通部品
<input type="checkbox"/> スパイナル針(21G)	<input type="checkbox"/> 硬膜外針(18G)	<input type="checkbox"/> 滅菌ドレープ
<input type="checkbox"/> 三方活栓		<input type="checkbox"/> 滅菌手袋
<input type="checkbox"/> スピッツ		<input type="checkbox"/> 鋭利器材専用廃棄容器

別売部品



腰椎説明模型

関連商品(実習に使用する器具・備品)・学習補助資料



椎間板ヘルニア説明モデル

実際に曲げたりひねったりして、腰椎にどんなことが起こるのかを確かめながら、ヘルニアのメカニズムを理解することができます。

〈4つの動きによる再現〉
・まっすぐな状態
・上体をねじる
・上体を曲げる
・ねじると同時に曲げる